

呉駅周辺地域総合開発基本計画検討会 第1回会議次第

【日 時】令和元年7月17日(水) 13時から

【場 所】呉市役所7階 757・758会議室

1 開 会

2 市長挨拶

3 委員紹介

4 呉駅周辺地域総合開発基本計画検討会 開催要領について

5 座長及び副座長の選出

6 議 題

(1) 呉駅周辺地域総合開発に関する提言書を踏まえて

- ・ 呉駅周辺地域の現状や課題, 総合開発の方向性等について

(2) 今後の進め方について

- ア 基本計画の構成, スケジュール等
- イ 市民アンケート
- ウ 対話型ニーズ調査

(3) その他

- ・ 交通社会実験について

7 閉 会

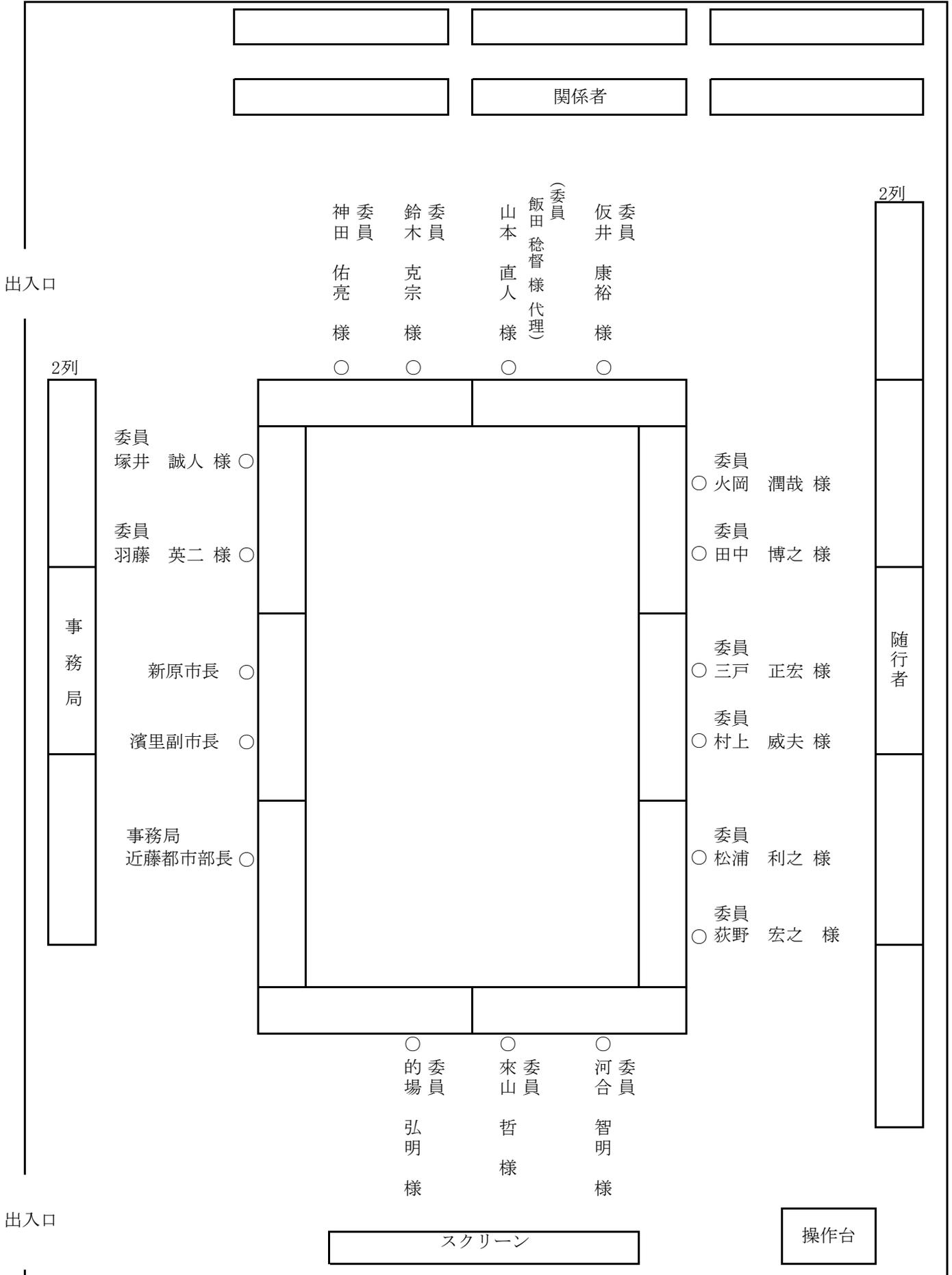
【配付資料】

資料1	呉駅周辺地域総合開発基本計画検討会 名簿
資料2	呉駅周辺地域総合開発基本計画検討会 開催要領
資料3	基本計画の構成, スケジュール等 (案)
資料4	市民アンケートについて
資料5	対話型ニーズ調査について
資料6	次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験 (案)
参考資料	呉駅周辺地域総合開発に関する提言書 (概要版 及び 本体)

呉駅周辺地域総合開発基本計画検討会 第1回 席表

【日時】令和元年7月17日(水) 13時00分～

【場所】呉市役所7階 757・758会議室



出入口

呉駅周辺地域総合開発基本計画検討会 名簿

【委員】

(順不同, 敬称略)

氏名	所属・役職等
はとう えいじ 羽藤 英二	東京大学大学院工学系研究科教授
つかい まこと 塚井 誠人	広島大学大学院工学研究科准教授
かんだ ゆうすけ 神田 佑亮	呉工業高等専門学校教授
すずき かつむね 鈴木 克宗	一般財団法人道路新産業開発機構理事
いいた としまさ 飯田 稔督	J R 西日本広島支社副支社長
かりい やすひろ 仮井 康裕	広島電鉄株式会社取締役交通政策本部長
ひおか じゅんや 火岡 潤哉	一般社団法人広島県タクシー協会呉支部長
たなか ひろゆき 田中 博之	呉駅前西再開発ビル管理組合代表 (株式会社そごう・西武執行役員)
みと まさひろ 三戸 正宏	J A 呉代表理事組合長
むらかみ たけお 村上 威夫	国土交通省中国地方整備局建政部長
まつうら としゆき 松浦 利之	国土交通省中国地方整備局道路部長
おぎの ひろゆき 荻野 宏之	国土交通省中国地方整備局広島国道事務所長
かわい ともあき 河合 智明	独立行政法人都市再生機構西日本支社副支社長
きたやま てつ 來山 哲	広島県地域政策局地域振興部長
まとば ひろあき 的場 弘明	広島県土木建築局建築技術部長

呉駅周辺地域総合開発基本計画検討会 開催要領

1 検討事項

- (1) 呉駅周辺地域総合開発基本計画に関すること。
- (2) その他呉駅周辺地域総合開発に関すること。

2 座長等

(1) 座長及び副座長

座長は委員の互選により定め、副座長は座長の指名により定める。

(2) オブザーバー

検討会の会議にオブザーバーの出席を要請することができる。

3 庶務

呉市都市部呉駅周辺事業推進室

4 謝金等

委員等（オブザーバーを含む。以下同じ。）が会議に出席した場合、呉市は、謝金及び費用弁償を支払うことができる。

5 会議内容の公表等

(1) 会議資料

会議終了の都度、原則として公表

（呉市情報公開条例に定める非公開情報を除く。）

(2) 会議の内容

議事の概要・骨子を取りまとめた議事録を作成し、会議終了の都度、原則として公表

(3) 守秘事項

各委員等は、本検討会で知り得た情報のうち、会議における個別の発言者及び発言の詳細、民間企業等において調査検討段階の情報等、公表を前提としない情報については、公表することを差し控えるものとする。

6 スケジュール

期間は当面1年間程度とし、3～4か月に1回程度、会議を開催

付 則

令和元年7月17日実施

基本計画の構成，スケジュール等（案）

1 基本計画の構成（案）

呉駅周辺地域総合開発基本計画

【総論】

- 1 呉駅周辺地域総合開発の必要性
 - ・ これまでの検討経緯，現状と課題等
- 2 呉駅周辺地域総合開発の基本方針
 - ・ 基本理念
 - ・ 全体ロードマップ

【第1期開発について】

- 3 複合施設の整備方針
 - ・ 基本理念
 - ・ 調査結果の分析（ニーズ調査・市民アンケート）
 - ・ 導入する機能の方向性
 - ・ 周辺公共施設の方向性
 - ・ 各機能の規模等
- 4 交通広場の整備方針
 - ・ 基本理念（国との連携等）
 - ・ 複合施設，周辺施設等との関係
- 5 第1期開発の方向性
 - ・ 第1期開発の範囲
 - ・ 官民事業区分
 - ・ 事業手法
 - ・ 事業スケジュール

【その他】

- 6 第1期開発以降の方向性

2 検討の流れ

基本計画の策定に向けて次の検討を行い、各項目について内容を整理する。

(1) 与条件整理

- ① 対話型ニーズ調査の結果報告および検討
 - ・ 事業性の把握
 - ・ 機能や事業手法に係るアイデアの聴収
- ② 市民アンケート調査の結果報告および検討
 - ・ 市民意見の聴収と調査結果の検討
 - ・ 呉駅周辺地域総合開発の周知
- ③ 複合施設に導入する機能の検討
 - ・ 複合施設に求められる機能と整備方針の検討
 - ・ ニーズ調査結果や市民アンケート調査での意見の反映
- ④ 関係者間の協議や調整
 - ・ 関係権利者との協議，調整
 - ・ 関連計画との調整



(2) 第1期開発の方向性に係る各項目の検討

- ・ 範囲，官民事業区分の検討
- ・ 導入する機能，規模等の検討
- ・ 事業手法の検討
- ・ 第1期開発スケジュールの検討



(3) 第1期開発以降の開発の方向性に係る検討

3 スケジュール (案)

	令和元年度									令和2年度	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
第1期業											プロポーザル等による事業者選定
検討会	第1回 ● 7/17			第2回 ● 10月下旬			第3回 ● 1月下旬		第4回 ● 3月下旬		募集要項等に反映 基本計画
市民アンケート	●	→		報告							
対話型ニーズ調査	●	→		中間報告	→	→	報告	→	報告		
							必要に応じ追加調査				

【関連事項】

駅前広場等整備方針	●	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
交通社会実験					●	→					

市民アンケートについて

1 調査の概要

(1) 有効サンプル数 計約400の有効サンプルを収集することとする。

(2) 調査手法

ア 郵送アンケート

- (ア) 調査対象 呉市に居住する満18歳以上の男女個人
(イ) 抽出方法 層化無作為抽出法（住民基本台帳からの抽出）
(ウ) 調査方法 郵送配布・郵送回収
(エ) 配布数 800程度

イ 街頭アンケート

- (ア) 調査対象 呉駅の利用者
(イ) 抽出方法 呉駅前が無作為に抽出
(ウ) 調査方法 街頭でヒアリング
(エ) ヒアリング数 200程度

※ 回収率を踏まえながら、適宜、追加調査

2 設問項目

別添（案）のとおり

3 調査実施期間

令和元年7月後半から8月中旬まで

4 集計・分析

(1) 集計時期 9月中に集計の上、第2回検討会に報告

(2) 分析の視点

以下の区分によるクロス分析

- ・ 年齢
- ・ 来訪目的
- ・ 居住地（斜面市街地等） など

駅を中心とした新たな呉のまちづくりに関するアンケート
～呉駅周辺地域の総合開発に向けたアンケートにご協力ください～

呉市では、呉駅周辺地域の総合開発に向けて、昨年5月に有識者による懇談会を設置し、本年3月27日に懇談会から「呉駅周辺地域総合開発に関する提言書」をいただきました。

今年度は、この提言を基に「呉駅周辺地域総合開発に関する基本計画」を策定します。
この基本計画の策定に当たり、市民の皆さまにご意見を伺うためのアンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。



- 提言書の詳しい内容は、「呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会」
HP www.city.kure.lg.jp/soshiki/90/sougoukaihatu4.html をご覧ください。



■ お問い合わせ先

【調査受託先】 株式会社アール・アイ・エー

担当：東京支社 生田

TEL 080-4408-7913

【調査主体】 呉市

担当：呉駅周辺事業推進室 橋本・林・島津江

TEL 0823-25-3558

・設問は全部で9問です。

■ 初めに、あなた自身についてお聞かせください。(該当する選択肢に○)

【ご性別】	男性	/	女性	/	その他										
【ご年齢】	10代	/	20代	/	30代	/	40代	/	50代	/	60代	/	70代	/	80代~

Q1. (最も近い1つに○) 呉駅への来訪頻度

① 週3回以上	② 週に1~2回	③ 月に1回程度	④ 年に数回以下
⑤ 上記以外 (全く行かない・行ったことがない) →Q6.へ進む			

Q2. (当てはまるすべてに○) 呉駅への来訪目的

① 日常の買い物	② 観光・お出かけ	③ 定期的な用事 (通院・習い事など)
④ 周辺に住んでいる	⑤ 呉駅周辺への通勤・通学 (自営業含む)	
⑤ 呉駅から交通機関を使用 (鉄道・バス・船などの乗換えを含む) (行先 _____ 目的 _____)		
⑥ その他 (_____)		

Q3. (平日・休日両方を回答) (当てはまるすべてに○) 呉駅への来訪手段

複数の交通手段をご使用の場合は、呉駅直近の交通手段をお答えください。

【平日】

① 鉄道	② 路線バス	③ タクシー	④ 自家用車
⑤ フェリー・船便	⑥ 自動二輪	⑦ 自転車	⑧ 徒歩
⑨ その他 (_____)			

【休日】

① 鉄道	② 路線バス	③ タクシー	④ 自家用車
⑤ フェリー・船便	⑥ 自動二輪	⑦ 自転車	⑧ 徒歩
⑨ その他 (_____)			

*** 次のページに続きます ***

Q4. (平日・休日両方を回答) (当てはまる時間帯すべてに○) 呉駅への来訪時間帯
 呉駅や駅周辺施設を利用する主な時間帯をお聞かせください。

平日									
	～8時	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～
休日									

Q5. (施設ごとに1つずつ○) 現在の呉駅周辺の公共施設について

呉駅周辺の公共施設の利便性についてお答えください。 ※添付の地図を参照ください。

公共施設名	とても便利	やや便利	どちらでもない	やや不便	とても不便
呉駅前広場（バスのりば）	1	2	3	4	5
呉駅前広場（タクシーのりば）	1	2	3	4	5
呉駅への一般車での送迎	1	2	3	4	5
呉駅～呉中央棧橋を結ぶ自由通路	1	2	3	4	5
呉駅西駐車場・駐輪場	1	2	3	4	5
呉駅東駐輪場	1	2	3	4	5

Q6. (3つまでに○) そごう跡地に整備する複合施設に必要なと思う機能

懇談会からは、そごう跡地の活用について、駅前広場と一体となった複合施設の整備が提言されました。この複合施設に求める機能として望ましいと思うものをお答えください。

① 居住（単身・夫婦）	② 居住（ファミリー向け）	③ 居住（高齢者向け）
④ 物販店舗	⑤ 飲食店舗	⑥ 宿泊機能
⑦ 高齢者のための機能	⑧ こどものための機能	⑨ 子育て支援機能
⑩ クリニック・医療機能	⑪ スポーツ・フィットネス機能	⑫ 観光案内機能
⑬ 市民活動・交流拠点機能	⑭ 図書館機能	⑮ 災害記録展示機能
⑯ 広場（憩い・イベント）	⑰ その他（ ）	

*** 次のページに続きます ***

Q7. (2つまでに○) 平成30年7月豪雨を踏まえ呉駅に備えるべき防災機能

懇談会からは、平成30年7月豪雨を踏まえ、呉駅周辺を地域の防災拠点とすることが提言されました。災害時の防災機能として、呉駅周辺に備えるべきと思われる防災機能をお答えください。

① 防災・災害情報発信機能	② 一時避難場所	③ 備蓄機能（備蓄品の保管）
④ 物資輸送の拠点機能	⑤ 救援活動の拠点機能	⑥ 災害時代替交通の発着機能
⑥ エネルギー補給機能	⑥ その他（ ）	

Q8 自動運転車など次世代の移動手段に期待すること

懇談会では、次世代モビリティとして、(1)自動運転 + 接続（隊列）走行による大量輸送が可能な次世代バス（例 トヨタ自動車「SORA」）、(2)自動運転 + 車内空間を自由に利用できる中・小型車両（例「e-Palette」；イー・パレット）の導入について提案がありました。

(1) (種別ごとに1つずつ○) 次世代バス導入への期待度をお答えください。

種 別	大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
地域間の生活交通 (例：呉駅 ⇄ 天応・安浦等)	1	2	3	4	5
観光地への移動手段 (例：呉駅 ⇄ 御手洗など)	1	2	3	4	5
島しょ部の生活交通 (例：呉駅 ⇄ 倉橋など)	1	2	3	4	5
広島へのアクセス (例：呉駅⇄バスセンター)	1	2	3	4	5
広島空港へのアクセス	1	2	3	4	5

次世代バスとは

- ・騒音や振動が少ない快適な乗り心地で、高齢者にもやさしい
- ・水素を燃料とし、排気ガスを排出しない
- ・給電機能は、災害時の非常電源として有効
- ・自動運転・複数台が連なる走行（隊列走行）によるフレキシブルな運行が可能



例 トヨタ自動車「SORA」

(トヨタ自動車株式会社ホームページ等より作成)

*** 次のページに続きます ***

(2) (種別ごとに1つずつ) 次世代の小型自動運転車導入への期待度をお答えください。

種別	大いに期待	期待する	どちらでもない	期待しない	全く期待しない
【移動手段としての活用】					
呉駅周辺への移動手段 (例: 呉駅 ⇄ 中央棧橋など)	1	2	3	4	5
斜面地の移動手段 (例: 自宅付近 ⇄ 主なバス停)	1	2	3	4	5
被災地の移動手段 (例: 自宅付近 ⇄ 主な駅・バス停)	1	2	3	4	5
観光地の周遊	1	2	3	4	5
【その他の活用】					
車内を様々な空間として活用 (例: 移動販売、オフィス、レストランなど)	1 2 └──────────────────┘ 1 又は 2 とご回答いただいた方 ⇒ Q8 (3) へ		3 4 5 └──────────────────┘ 3～5 とご回答いただいた方 ⇒ Q9 へ		

次世代 小型自動運転車とは

- 自動運転による移動・物流
- 車内空間を様々なサービスに対応



例 トヨタ自動車「e-Palette」

オフィス



レストラン

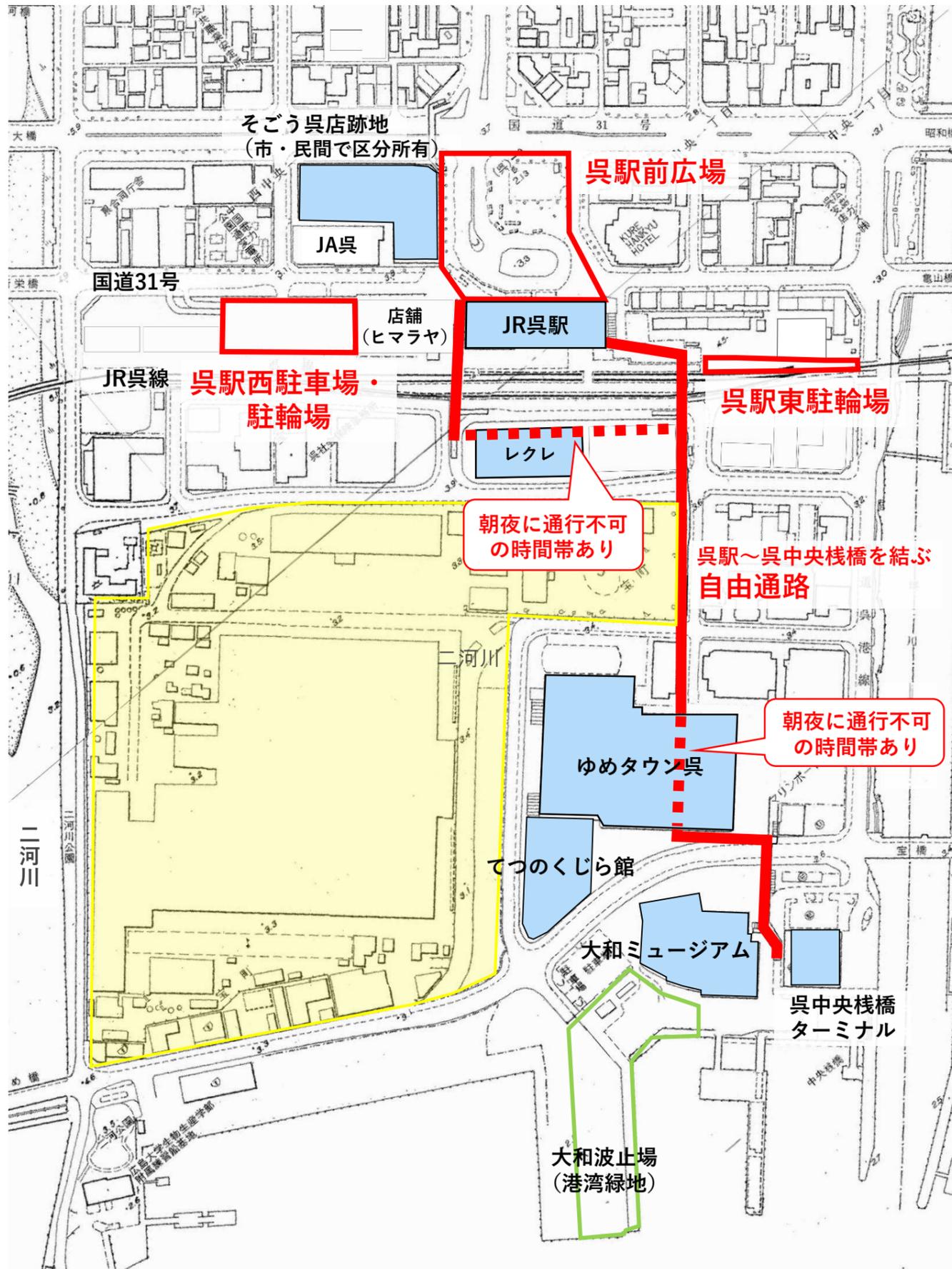


(トヨタ自動車株式会社ホームページ等より作成)

*** 次のページに続きます ***

駅を中心とした新たな呉のまちづくりに関するアンケート

添付地図（Q5を回答する際に参照ください）



■各施設の参考写真

□呉駅前広場



バスのりば



タクシーのりば

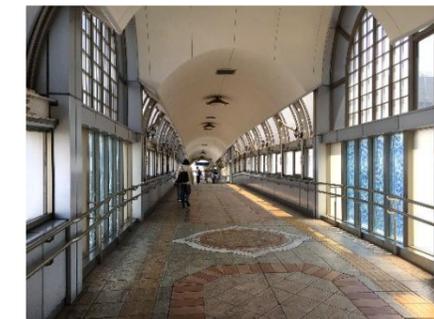


一般車送迎の現況

□自由通路



自由通路（東側）



自由通路（西側）

□呉駅西駐車場・駐輪場



□呉駅東駐輪場



凡例

	}	Q5で回答対象の公共施設		周辺の主な施設
---	---	--------------	---	---------

対話型ニーズ調査について

【平成30年度】

市場ニーズ調査

■ 住宅・商業等の市場ニーズを把握するための調査をアンケート方式により実施

【調査対象】 17社（全国規模の総合開発ディベロッパー）

【調査期間】 平成30年11月19日 発送 ～ 12月10日

【調査方法】 電子メールによる配付・回収

【質問項目】 住宅・商業・ホテル・業務・その他の施設について

- ・ 立地の評価
- ・ 想定される用途, 規模 など

※ 調査結果を踏まえながら、
懇談会で検討

呉駅周辺地域総合開発に関する提言書

※ 基本計画の策定に向けて、
市場ニーズ調査を拡大

【令和元年度】

対話型ニーズ調査（案）

■ 第1期民間開発エリアについて、事業組成段階から民間事業者のノウハウを活用するため、対話型ニーズ調査を実施

【調査対象】 対話型ニーズ調査へ参加意向のある事業者

【募集方法】 募集要項をホームページ等により周知し、参加者を募集

※ 昨年度ニーズ調査対象者にも、意向確認

【調査期間】 令和元年7月下旬 ～

【調査方法】 対面型聞き取り調査（随時、書面アンケート等を併用）

【質問項目】

- ・ 事業範囲
- ・ 用途, 規模等の詳細
- ・ 事業採算性
- ・ 事業手法
- ・ その他事業化に向けての課題及びその解決手法 など

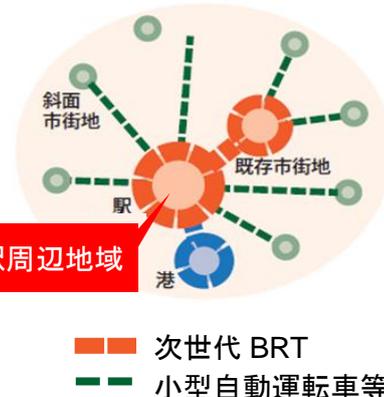
※ 調査結果を踏まえながら、
基本計画を策定

呉駅周辺地域総合開発基本計画

次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験（案）

1 目的

- 呉駅周辺地域においては、鉄道・バス・航路など複数の交通モードが結節する総合交通拠点として、次世代モビリティ(自動運転車両、次世代BRTなど)やMaaSの導入を見据えた交通結節機能の再整備の検討を進めている。
- また、当地域を拠点として、都市間アクセス・地域間アクセスの役割を担う次世代BRT、斜面市街地の移動手段として期待される小型自動運転車両の導入など、次世代型の交通ネットワークの形成を目指していく。
- こうした将来の交通ネットワークの形成を念頭に、次世代BRT「SORA」を用いた交通社会実験を実施し、市民・観光来訪者の次世代モビリティ導入への機運醸成を図るとともに、導入に向けての課題抽出等を行う。
- 合わせて、昨年の豪雨災害を踏まえ、災害時における非常電源機能の有用性を検証する。



トヨタ社製「SORA」

2 実施期間

令和元年12月頃 2～4週間

3 実施概要

- (1) 使用車両 トヨタ社製「SORA」(燃料電池バス)
- (2) 実施内容 ①交通社会実験+②非常電源PR

① 交通社会実験

実験ルート(例)

呉駅 → れんがどおり → 呉駅



② 非常電源PR

交通社会実験期間内に実施されるイベント連携して、以下の取組を検討

- ステージにおける非常電源デモンストレーション
- ブース(呉駅の取組・自動運転PR, 携帯充電コーナー)など



大容量外部給電システム

呉駅周辺地域総合開発に関する提言（概要版）

平成 31 年 3 月 27 日 呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会

呉駅周辺地域総合開発の基本的な方向性

提言① 呉駅は鉄道駅だけでなく、バスや港の総合交通拠点に そして、まちづくりの核に
呉駅周辺地域を、「鉄道の駅」から「鉄道、港、市内・広域都市間・次世代BRTのバスターミナルなどが集積する総合交通拠点駅」とすること。また、コンパクトシティの実現に向けたまちづくりの拠点とすること。

呉駅周辺地域総合開発において整備すべき施設・機能

提言② 呉駅周辺における一般車の送迎環境改善
駅前広場の改良により、一般車の進入と送迎が可能な、市民が利用しやすい交通広場を整備すること。

提言③ バリアフリーをフルに、市民が集う憩いの広場に
呉駅の南北を連絡するデッキを2階レベルで整備し、駅北側から呉中央棧橋ターミナルまで切れ目ないバリアフリーの歩行者空間を確保するとともに、市民や観光客が自然に集う憩いの広場空間を設けること。

提言④ 呉市の都心居住の受け皿に、中心街区の形成の核に
商業施設や住居施設、公共公益施設などの機能を集約し、バス利用者等の利便施設を兼ねた複合施設を整備すること。

提言⑤ 地域の防災拠点に
災害時の一時的な避難場所や災害支援の活動拠点として利用できる防災拠点機能を備えること。

呉駅周辺地域総合開発と連携した呉のまちづくりの推進

提言⑥ 交通まちづくりを軸としたスマートシティの実現
呉駅周辺地域と広島市・広島空港等を結ぶ都市間アクセスや、斜面市街地の移動手段等としての次世代モビリティ（次世代BRT、自動運転車両など）の導入など、交通まちづくりを軸としたスマートシティの実現を目指すこと。

提言⑦ アーバンデザインセンターの設置
市民の空間としての駅前空間をマネジメントしたり、自動運転を見据えた交通社会実験など新たな取り組みを推進する組織として、アーバンデザインセンターを設置すること。

呉駅周辺地域総合開発に伴い求められる重要な視点

提言⑧ 既存市街地や市内観光拠点へのアクセス向上
総合交通ターミナル機能の強化、次世代モビリティの導入等により、市民・観光客が移動しやすい交通体系を構築する。

提言⑨ 広域連携（都市間連携）の強化
呉駅周辺地域のゲートウェイ（玄関口）機能を強化することにより、呉から広島・瀬戸内へとつながる回遊ルートを形成する。

提言⑩ 災害に強い安全・安心なまちづくりの拠点に
災害時には呉駅周辺地域が地域の防災拠点として機能するとともに、各地域へつながる災害時の交通ネットワークの拠点となる。

呉駅周辺地域の将来イメージ

平成31年3月27日開催
「駅を中心とした新たな呉のまちづくりに関するフォーラム」より

